



Foreword by Mark Elsdon

## 序文

私は長い間、シュフトンのファンだった。もちろん、そうなるのは簡単なことだ。

私たちがマジックと呼ぶこのゲームの奇妙なところは、最も才能ある興味深い思想家でありながら、しばしば非常に地下に潜ったままであることが多いということだ。

スティーヴの場合もそうで、のんびりとしたアプローチで、天才的な才能を隠している。

彼がリリースしてきた作品はどれも革新的で、人を欺き、実用的であり、『オール・アウト・マジック』もその例に漏れない。

今回は、カードを使ったマインドリーディングの両端を探ることに焦点を当てた。

第一に、普通のデッキを使い、カード（または複数のカード）を観客がデッキを持っている間に、フォース（強制）する方法。そしてもうひとつは、ある予言が、いくつかの異なる可能性のうちのひとつであるにもかかわらず、紛れもなく唯一の選択肢であることを証明する方法である。

スティーブの細部へのこだわりは、これらのエフェクトやルーティンを持ち上げるだけでなく、その原理、ハンドリング、道具を確実に考案している。

これらのエフェクトやルーチンを、カードメンタリズムで可能なことの上位に引き上げるだけでなく、はるかに幅広い応用が可能です。私は、ここに書かれているアイデアのいくつかを観客を楽しませることを真剣に考えているマジシャンの仕事において、レギュラーデッキを使った「ベストプラクティス」となることを期待しています。

しかし、それだけでは終わりません！スティーブは、「オール・アウト」の原理を、彼の初期のエフェクトである「Animal Instinct：アニマル・インスティンクト」と「Inexplicable：インエクस्पリーカブル」にも適用し、劇的な効果を上げています。同様に「The Reversed Card：逆転のカード」にも。

そして、これで彼はまだ終わっていない。本書に収録の「Birthday Card：バースデーカード」にもである。

このトリックでは、他のすべてのトリックが分解され、崇高な美しさを持つ作品に生まれ変わっています。

マジシャンも素人も、誰もが騙されるトリックです。

あらゆる種類の巧妙さがあり、絶対的な楽しみが待っています。

マーク・エルズドン

シュフトン・ファン

## はじめに

今回で3回目、そしておそらく最終回になると思われる、レギュラーデッキで奇跡的な予知能力を発揮するための特別な方法と小道具を紹介します。

普通のデッキで？

そうです。どんなデッキでも。ポケットの中の小道具が少なくても済むのです。

さらに、普通のデッキなら観客の手元に置いておいてもバレる心配がない。なんて素敵なんだ！

さらに話を進めよう。デッキが観客の手元にある間に、カードを選んでもらう事が出来るとします。多くの場合、ピークや特別なデッキ（コーランのようなもの）を使って行います。

でもこの場合、観客はあなたがシャッフルしたデッキを手に取り、そこからカードを表向きに配りながら好きな時に配るのを止めてもらいます。

観客がカードを配り終わるまで、一言も話しません。あなたの手はもうデッキに触れません！

いよいよ興味がわいてきましたか。

次に、テーブルの上にはすでに予言がある。

おそらくそれは別のデッキに裏向きにされているかもしれません！

もしかしたら、それはテーブルの上の財布の中にあるかもしれません。

もしかしたら、それは封筒や紙のスリーブに入った1枚のカードかもしれません。

本当に1枚のカードで、決して入れ替わることはない。そう、最終的に予言は一致するのです。

さらに、観客がカードを表向きに返す前に、予言を明らかにすることができます。

(・・・カードに一切手を触れずにです) 今、私たちは驚くべき奇跡を演じているのです！

あなたが手にしている解説書と付属の小道具を使えば、あなたは予言することができます。

あなたの創造力次第で、もっと多くのことができます。

付録として、これらの戦略を使った私のお気に入りのエフェクトが含まれています。

今まで何年もの間、アンダーグラウンドで守られてきた効果である。

この効果を演じるには、いくつかの追加スキルが必要である。ほとんどはメンタルなものであるが、この本に収録されているアイテムのほとんどを、必ずしも十分な必要スキルを持っていないメンタリストやマジシャンにも演じられるようにしました。

この最後の作品は、私が最も密かに守ってきたもので、私はこれを「バースデー・カード・トリック」と呼んでいます。

これは本当に見事で、プロのマジシャンに見せても全く分からないものです。

この原稿を書いている時点では、教えたのはジョシュア・ジェイ (Joshua Jay) しかいません。

彼は私に出版を勧めたが、それは正しかったと思う。この不思議なファンタスティック・マジックを埃の山に埋もれてしまわないように、出版すべきだと。

あなたのマジックをさらに発展させる動機付けになることを願っています。

私の「バースデー・カード・トリック」を演じた皆さんの中からの感想を楽しみにしています。

私のバースデー・カード・トリックを演じてみてください。もちろん、このトリックの詳細については後ほど説明します。

初めてその戦略の一端を紹介したのは、「Inexplicable：不可解」と題された素晴らしい強力なエフェクトの中だった。この「インエクスピリカブル：不可解」もまた、私のお気に入りであり、その効果に必要な小道具はいつも持っている。このエフェクトの小道具は、私のサイトで購入することができる。[www.shufton.com](http://www.shufton.com)

★ この「インエクスピリカブル」は、当店【フェザータッチ MAGIC】でも販売中  
<https://www.ftmagic.jp/view/item/000000002575>

このシリーズの第2弾は「Animal Instinct」と題したエフェクトである。このシリーズはこの種の戦略が動物の名前に適用できることを明らかにした。

また、その方法として、わずか12枚の小さなパケットで、全ての効果を上げることができる。小道具も非常にユニークで、このエフェクトも持つ価値がある。

特に、標準的なトランプから離れたメンタリストには、この効果を持つ価値がある。

今回のこの作品（この路線での私の最後の作品になると思われる）は、前述のすべての解説を提供するものであるが、それ以上のものである。私はあなたにサイクリック・フォースを教えます。

これは、あなたのマジックとメンタリズムに新たな道を開くことになるでしょう。この方法は、予言が明らかになる前に、その予言を開示できることを保証します。些細なことですが、非常に強力です。

最後に、私はあなたに様々な予言のテクニックと道具を紹介します。

いくつかの効果はレギュラー・デッキだけでできる効果もあります。いかがですか？

さっそく始めましょう！

## 原 理

この戦略には2つの包括的なコンセプトがあります。ひとつは

—以下省略—

2つ目の主なコンセプトは、

—以下省略—

この2つのアイデアを組み合わせることで、観客は説明不可能で、非常に強力な体験をすることになる。

メンタル・マジックの分野では、長年の演技経験から、カードを使った実演でこれ以上強力なものは無いと確信しています。これは“デモンストレーション”に“デーモン：悪魔”を入れたものだ。

最初のコンセプトは、もちろん選択プロセスに当てはまる。

二つ目のコンセプトは、最後の予言開示についてである。

この2つのアイデアを組み合わせ、驚くような不可解な効果を生み出すことができるだろうか？これらのコンセプトと道具を使うことで、メンタル・カード・マジックは、（このギミックのないデッキを使った）最強のマジックだと私は思います。

## 「Xマーク・ザ・スポット」

この効果を説明しながら、考察と熟考のために、括弧書きのコメントを加えます。これらのコメントのいくつかは、あなたが演じるエフェクト、特にメンタリズムとメンタルマジックに効果的です。ごゆっくりどうぞ。

**効果**：パフォーマーはデッキをテーブルに置いて説明します：「この箱の中のカードの1枚にX印を付けました。この話はまた後ほど・・・」（あなたのセリフには自由裁量があります。私は基本的に大まかなセリフの骨格だけを提供します。私は一言一句私のセリフを提供するわけではありません。あなたのスタイルやプレゼンのジャンルに合わせて、創造的なものにしてください。）

2つ目のデッキを取り出してシャッフルします。これは普通のデッキで52枚のカードで構成されています。観客は、このデッキが怪しく無いものであることを確信します。そのデッキはすぐに観客に手渡されます。演者はデッキに触れることはありません。（観客がシャッフルされたデッキを完全にコントロールし、そのデッキからカードの選択を行います。）

観客はカードを1枚ずつ表向きにテーブルに配り始めます。観客がカードを配っている間、ゆっくりとカードを配り、好きな時に止めるよう指示します。その後、パフォーマーは、カードが配り終わるまで一言も話しません。フォース：強制、誘導等はありません。（カードの選択はこれほど公平なことはありません！カードは表向きに配られる。これはカードがすべて異なることを示している。イカサマは起こらない。観客はいつでも好きなときに止めることができます。文字通り！）

パフォーマーはプレゼンテーションの間、カードに触れることはありません。観客が配るのを止めたら、パフォーマーは「今、手元のデッキのトップに未知のカードがあります。私もあなたもそのカードが何であるか知りませんね」

観客は、手元のデッキの上にある裏向きのトップカードが何であるか分からないことを認めます。（観客の同意を得ることで、あなたのデモンストレーションがより強力なものになります。観客は一度口頭で同意すると、その考えを変えることはまずありません！他の観客も同意することでしょう。効果の強さはこうして高まります！）

パフォーマーは続ける：「覚えていらっしゃると思いますが、以前この別のデッキについてお話ししました。」パフォーマーはテーブルから2つ目のケース入りデッキを手に取ります。「このデッキの1枚にカードの端に“X”のマークがあります。それを見つけましょう！」

パフォーマーは2つ目のデッキを箱から取り出し、すぐにカードをテーブルに広げます。スプレッドされたカードの1枚（1枚だけ）に“X”があるのがわかります。「ああ、これだ！どのカードに印をつけたか見てみましょう」。そのカードをスプレッドから出して見せます。そのカードがクラブの5だとする。「クラブの5です。あなたがどのカードで止めたか見てみましょう。デッキの一番上のカードをめくってください。」観客はデッキの一番上のカードを表向きにします。もちろん、そ

これはクラブの5です。素晴らしい予言現象です。とても強力です！

## 「Xマーク・ザ・スポット」 - 方法

—以下省略—

## 選択プロセス

—以下省略—

## 予言の開示（リベレーション）

—以下省略—

## サイクリック・フォース（循環フォース）

観客にカードを表向きではなく、裏向きで配らせることで、いくつかの利点があることは明らかでしょう。いくつかの利点と欠点があります。

裏向きで配る1つの利点は、もちろん常に選ばれたカードは裏向きであることが保証され、フィナーレが少し強化されます。

しかしこれは、常に表向きにカードが配られるという利点の代償です。

もし観客が、カードは普通のもので、すべて違うものだと確信しているなら、この代償はあまりありません。これは、カードを観客に見せ、特にカードを観客に扱わせることで簡単に達成できます。

あなたの好みで決めることができます。

多くのデモンストレーション・実演が役立つでしょう。

—以下省略—

一つの方法は、ターゲットカードの複製（同じカード）を導入したトリックデッキを使うことです。しかし、これではこの種のエフェクトの長所の一つであるノーマルデッキがなくなってしまいます！

それは、デッキを他人に扱わせる自信がなくなり、実演が弱くなる可能性があるからです。

また、借りたデッキでこれらの効果を達成する可能性もなくなります。

一方、トス・アウト・デッキやコーランのようなプレゼンテーションでは、このような戦略を駆使しており、ほとんどのパフォーマーはこれらのデモンストレーションが強力であることに同意するでしょう。

このようなトリックデッキの使い方はあなた次第です。私のマジックでは、ほとんど普通のデッキを使っています。

最近は（ウォークアラウンド用に）ノーマルデッキを使うことが多いです。

また、ストレート（レギュラー）デッキだけを使う他のエフェクトを持っているマジシャンにも便利です。

同じデッキを使い続けることができ、ポケットのスペースも最小限に抑えることができます。これらは全てを納得させることはできません。どちらを選ぶかはあなた次第です。

観客にカードを裏向きに配らせるかどうかは、あなた次第です。

デッキの状態を常に把握し、不運な「サプライズ」が起きないようにしてください。

これはもうすぐ説明される「サイクリック・フォース」を使えば解決できます。この方法では

—以下省略—